

大会新記録続出にわき上がる大歓声 姉妹都市親善水泳大会2008

9月14日、スパッシュランドしろいしで姉妹都市親善水泳大会2008を開催し、本市と北海道登別市、神奈川県海老名市の3市に特別参加の南三陸町の選手2名を含む65名の小学生が、水泳競技を通して交流を深めました。

10種目が行われた今大会では、男子50m平泳ぎで登別市の中谷亮太くんが38秒08、女子50mバタフライで海老名市の天野芹菜さんが34秒14、男子200mリレーで登別市Aチームが2分6秒10の好記録でそれぞれ大会新記録をマーク。また、南三陸町の高橋優太くんが2種目制覇を達成するなど、記録づくめの大会で盛り上がりました。



▲女子200mリレーで必死の泳ぎを見せる参加選手

黄金色に輝く稲穂、味わう収穫の喜び 福岡上原地区で田舎暮らし体験ツアー秋編を開催



▲刈り取りや、小束にまとめる作業を分担して行う家族

10月11日、田舎暮らし体験ツアー秋編が開催され、仙台市などから参加した8家族20人が、福岡蔵本・上原地区の田で稲刈りを体験しました。白石の魅力が市外の方に体験していただき、定住促進の足がかりになればと、実行委員会が主催したツアーは本年度で3回目。5月10日の春編で田植えを行った水田は、一面黄金色の稲穂へと成長し、参加者は収穫の喜びをかみしめながら、稲を刈り取っていました。稲刈り以外にも、小下倉地区での里芋の収穫と芋煮を楽しんだ一行。春編と合わせて、農業を中心とした本市の魅力を堪能していました。

子どもからお年寄りまで、楽しく力を合わせて! 第80回白石市民体育大会



▲みんな楽しく! 笑顔で! でも真剣に!

10月12日、白石川緑地公園陸上競技場で第80回白石市民体育大会が開催され、白石地区を中心に約1,200人の市民の皆さんが参加しました。80回目の記念大会となった体育大会は、昨年からの競技種目を大幅に変更。「参加して楽しい」、「見て楽しい」をキャッチフレーズに、子どもからお年寄りまでより多くの皆さんが参加できる楽しい競技が次々と行われ、応援する声が響いていました。本年の大会では、南町自治会が見事優勝。節目の大会での栄冠を地区民みんなの力で勝ち取りました(準優勝:本郷第三自治会、第3位:鷹巣自治会)。

地域への感謝の気持ちを忘れずに 白石女子高吹奏楽部の皆さんが清掃奉仕作業

9月21日、市中心部で白石女子高吹奏楽部の皆さんによる清掃奉仕作業が行われました。この奉仕作業は、練習や演奏会などで日ごろからお世話になっている、地域の皆さんに恩返しをしようと思われたものです。

雨が降る中、部員とその保護者、OBなど約100名の皆さんは、いきいきプラザや白石神明社、通学路の駅前通りに別れてごみ拾いを実施。作業に参加した部員の一人は「今後も地域の皆さんに感謝しながら、練習に励んでいきます」と話し、楽器の演奏技術だけではなく、人と人とのつながりの大切さをかみしめていました。



▲雨が降る中、白石神明社付近でゴミを拾う生徒たち

おいしいいちごが実りますように! 親子ふれあい農園いちご苗植栽会

9月20日、生ごみのメタンガスを燃焼発電し、その熱エネルギーを利用している生ごみ資源化事業所(シリウス)内の農業用温室で、親子ふれあい農園いちご苗植栽会を開催しました。植栽会には、小学生の親子約100組、270人が参加。1人1本の苗を受け取り温室に入った親子は、福岡長袋のいちご農家、高野行夫さんから植え方の説明を受けた後、一斉に植栽を行いました。

植栽したいちごは「女峰」という、1本の苗に約50個の実がなる品種です。クリスマスごろ、植栽会に参加した家族を対象に、試食会を開催します。



▲親子で12月の試食会を楽しみに一生懸命植えました。

地域みんなで長寿をお祝い! 西益岡自治会で「長寿を祝う会」



▲おいしい手作りのお弁当でみんな笑顔に!

西益岡会館で9月17日、西益岡自治会に住む皆さんの長寿をお祝いしようという催しが、同自治会の主婦でつくるボランティア団体「あじさいの会」と同自治会の老人クラブ「明正会」の主催で開催されました。

祝う会では、あじさいの会の皆さんが、朝早くから心を込めて作った手作りのお弁当で、参加した皆さんを持ってなし、あじさいの会の皆さんと一緒に、おいしくて楽しい食事をしていました。会食後には、旭町在住の八島義松さんによる津軽三味線の演奏や歌が披露され、手作りの楽しいひとときを過ごしていました。

市民と共に歩み続けた30年、そして次の30年に向けて 白石市民吹奏楽団30周年記念コンサート



▲NHKの公開収録や白石女子高吹奏楽部の演奏も開催

10月13日、ホワイトキューブで白石市民吹奏楽団30周年記念コンサートが開催され、600人を超える観客が、オーケストラの奏でる壮大で美しい音色に耳を傾けました。昭和52年春の結成以来、学校行事や老人ホームでの演奏など、地元根ざした演奏活動を続けてきた市民吹奏楽団。団長の山田陸男さんは、コンサート開催に当たり「私たちの『地域密着』というコンセプトは今後も変わりません。次世代を担う子どもたちに、私たちの取り組みを引き継いでいきたいです」と、次の30年に向けた強い意気込みを話してくださいました。

切り絵独特の線と色づかいが来場者を魅了 壽丸屋敷・三島木正子切り絵作品展

9月12日から17日まで、壽丸屋敷で白石出身の切り絵作家、三島木正子さんの作品展が開催されました。三島木さんは市内福岡深谷地区のご出身。今回の切り絵作品展では「蔵王とその周辺に咲く花」をテーマに、「りんどう咲く刈田岳」や「桃の花咲くころ」、「ななかまどとお釜」など、35点ほどの作品を展示しました。「切り絵の魅力は黒と白のはっきりしたコントラスト。私の性格に合っています」と話す三島木さん。切り絵独特のシャープな線と自然の色が魅力の美しい作品の数々を一目見ようと、期間中たくさんの方が会場を訪れました。



▲美しい花々、そして蔵王の雄大な景観が来場者を魅了